

第2回北海道電力七飯発電所の漏水に伴う現地営農支援対策本部会議 次第

日 時 令和5年6月29日（木）14時00分

場 所 七飯町文化センタースターホール

1 開 会 北海道渡島総合振興局産業振興部長 本阿彌 俊治

2 開会挨拶 北海道渡島総合振興局長 田中 仁

3 内 容

(1) 現在の対応状況

(2) 意見交換

(3) その他

4 閉会挨拶 北海道渡島総合振興局長 田中 仁

北海道電力七飯発電所の漏水に伴う現地営農支援対策本部会議(2回目)出席者名簿

日時：令和5年6月29日(木) 14:00～

場所：七飯町文化センター スターホール

団体名	職名	氏名	備考
北海道開発局函館開発建設部	部長	岡下 淳	
北海道開発局函館開発建設部	農業開発課長	加藤 丈士	
北海道農政事務所函館地域拠点	総括農政推進官	増永 広樹	
北海道農政事務所函館地域拠点	主任農政推進官	高見 尚男	
函館市	農林水産部長	松浦 真人	
函館市	農林整備課長	長谷川 岳志	
北斗市	経済部長	楠川 修	
北斗市	農林課長	野津 功	
北斗市	農業施設係長	佐藤 徳男	
北斗市	主任	鈴木 僚	
七飯町	農業委員会事務局長	赤石 旭	
七飯町	農林水産課林務担当係長	丹羽 正幸	
七飯町	農林水産課農水振興係長	手塚 晃佑	
北海道電力株式会社函館水力センター	所長	打合 優至	
北海道電力株式会社広報部	広報推進グループ	秋山 芳宏	
北海道電力株式会社総務部	立地室火力・水力グループ副主幹	富永 展彰	
北海道電力株式会社函館水力センター	主任	川崎 一博	
北海道電力ネットワーク株式会社道南統括支店業務部	企画総務グループリーダー	楨田 健	
北海道農業協同組合中央会札幌支所	次長	太田 智	
ホクレン農業協同組合函館支所	営農支援室長	駒形 剛	
ホクレン農業協同組合函館支所		三澤 紀子	
新函館農業協同組合生産販売部	米穀畑作課長	田代 岳雄	
新函館農業協同組合北斗営農センター	副センター長	関 司	
新函館農業協同組合北斗営農センター営農課	課長	島田 貴光	
新函館農業協同組合北斗営農センター生産施設課	課長	蛭名 慶徳	

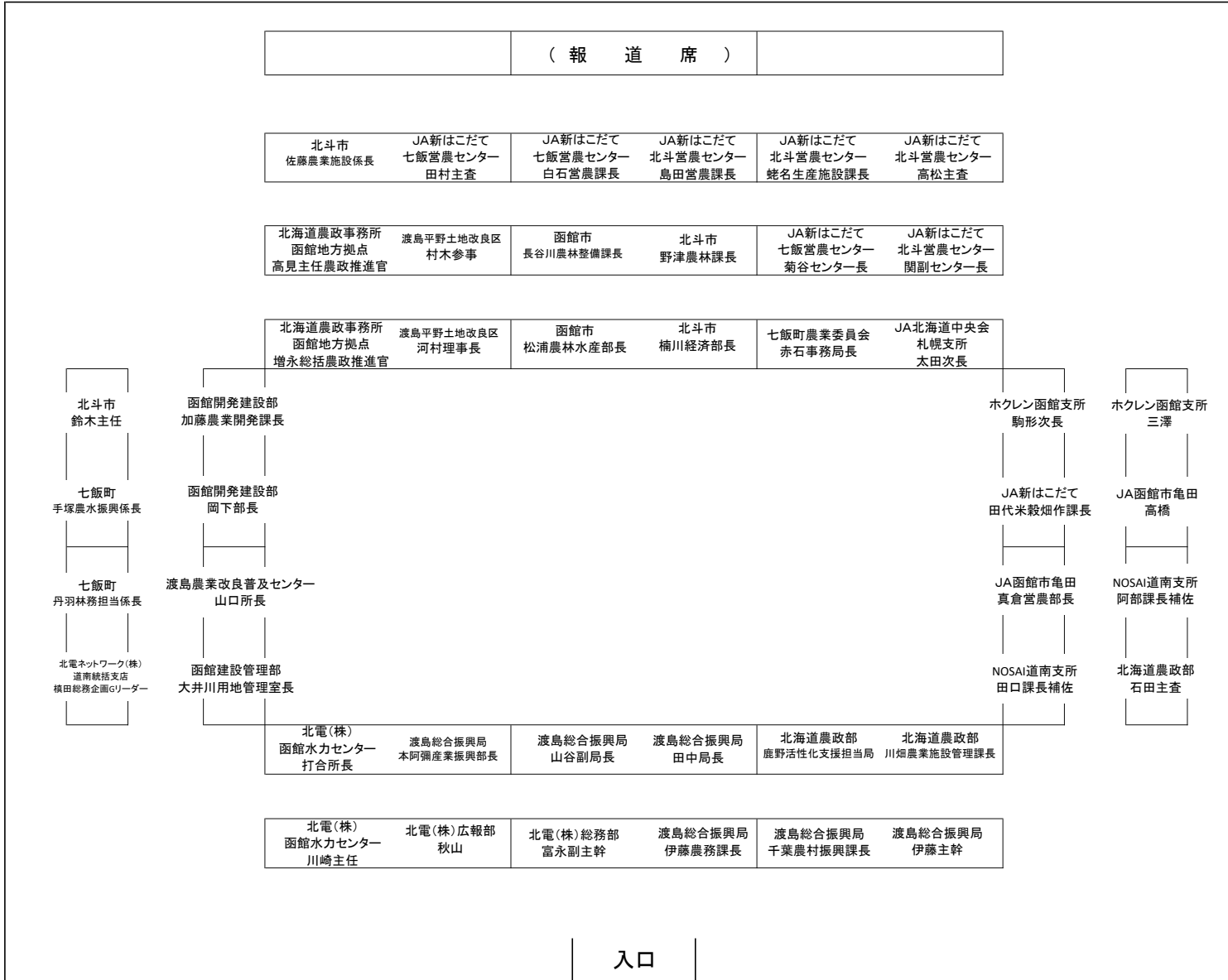
北海道電力七飯発電所の漏水に伴う現地営農支援対策本部会議(2回目)出席者名簿

日時：令和5年6月29日(木) 14:00～

場所：七飯町文化センター スターホール

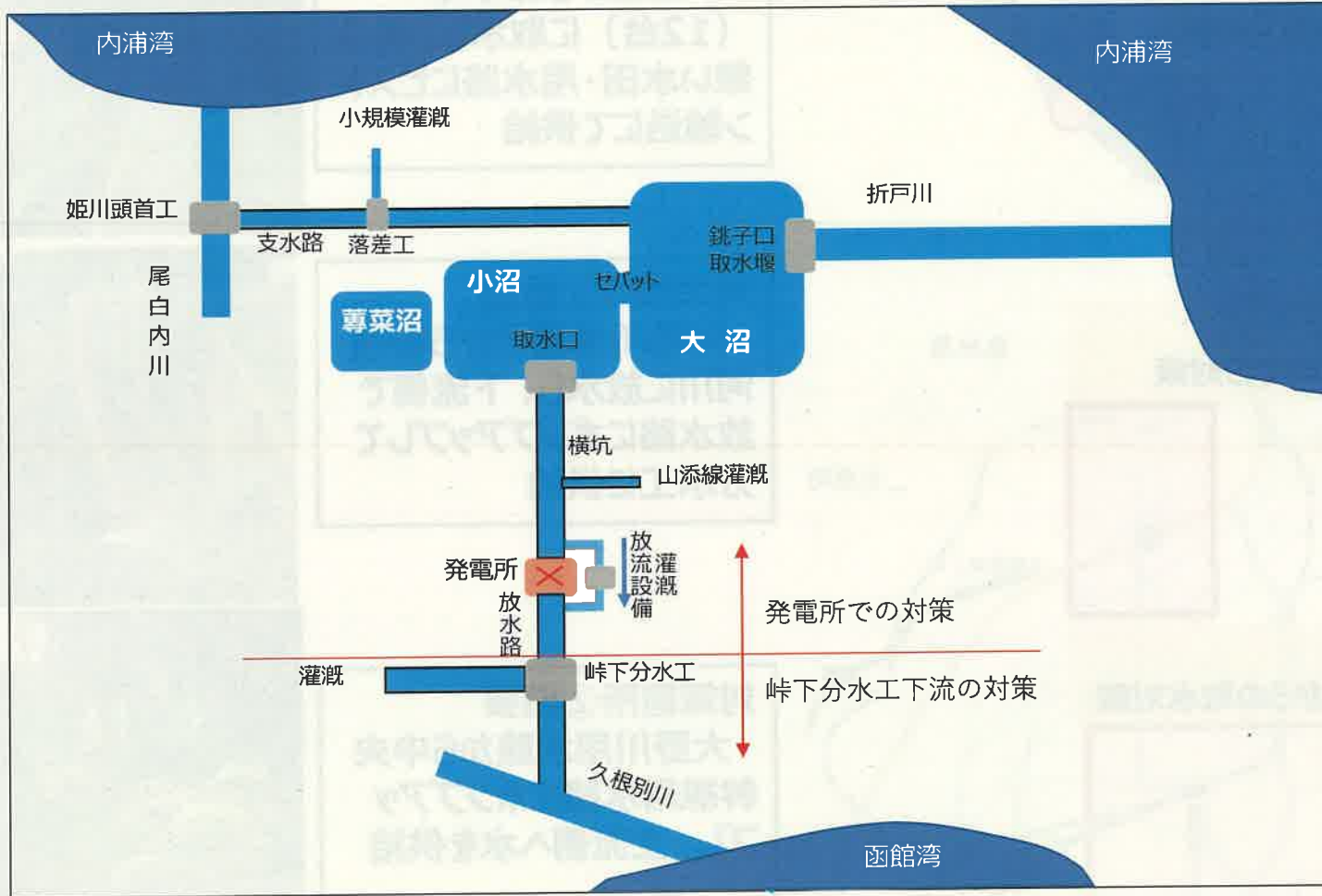
団体名	職名	氏名	備考
新函館農業協同組合北斗営農センター生産施設課	主査	高松 弘大	
新函館農業協同組七飯営農センター	センター長	菊谷 文則	
新函館農業協同組合七飯営農センター営農課	課長	白石 英帝人	
新函館農業協同組合七飯営農センター営農課	主査	田村 健	
函館市亀田農業協同組合	営農部長	真倉 誠司	
函館市亀田農業協同組合	販売推進係	高橋 亮	
北海道農業共済組合 みなみ統括センター道南支所	課長補佐	田口 詠士	
北海道農業共済組合 みなみ統括センター道南支所	課長補佐	阿部 一人	
渡島平野土地改良区	理事長	河村 康英	
渡島平野土地改良区	参事	村木 直樹	
北海道農政部	活性化支援担当局長	鹿野 訓久	
北海道農政部農村振興局	農業施設管理課長	川畑 恭章	
北海道農政部生産振興局技術普及課	主査(普及情報)	石田 葉子	
北海道渡島総合振興局	局長	田中 仁	
北海道渡島総合振興局	副局長	山谷 公二	
北海道渡島総合振興局	産業振興部長	本阿彌 俊治	
北海道渡島総合振興局	渡島農業改良普及センター所長	山口 和彦	
北海道渡島総合振興局函館建設管理部	用地管理室長	大井川 崇志	
北海道渡島総合振興局産業振興部	農務課長	伊藤 二郎	
北海道渡島総合振興局産業振興部	農村振興課長	千葉 清人	
北海道渡島総合振興局産業振興部	農村振興課主幹	伊藤 尚	
		46人	

座 席 表



入口

概況図



七飯発電所 灌漑対策位置図



対策箇所③
小沼から給水車で供給

対策箇所③概要
小沼他から給水車
(12台) に取水し、水の
無い水田・用水路にピスト
ン輸送にて供給



対策箇所①
発電所上下流での対策

対策箇所①概要
発電所水槽他から普通
河川に放水し、下流側で
放水路にポンプアップして
分土工に供給



対策箇所②
大野用水路からの取水対策

対策箇所②概要
大野川用水路から中央
幹線用水路にポンプアッ
プし、上流側へ水を供給



対策箇所① 七飯発電所 対策状況 (6/28現在)



対策箇所② 大野川用水路からの取水（6/29開始）



対策箇所③ 小沼他から給水車に取水してピストン輸送



小沼での取水



石川沢での取水



用水路への供給



七飯幹線第4地区への供給

6月24日より給水車稼働開始 4台
6月25日より給水車増台 計 7台
6月27日より給水車増台 計 12台
(6/28夕方時点)

大野平野地区全景



出典：北海道開発局様報道発表資料より

- 灌漑用水は、発電所より放流した水を峠下分水工から給水します。
- 大野川や周辺河川からの取水などにより、全ての水田で通水ができる状況です。
- ほ場において、必要な用水が行き渡っているかを確認しながら、状況に応じて、引き続き、関係機関の皆様のご協力をいただきながら、あらゆる手段を尽くしてまいります。